

現 計 画（R6～8）			次 期 計 画（R9～11）		
①基本理念：共に支えあい、生涯自分らしく暮らし続けられる社会の実現					
②基本目標			⑥取り巻く環境・社会的課題		
高齢者が健康で生きがいを感じながら、心豊かに自分らしく活躍することができるとともに、地域で共に支えあい、将来にわたり誰もが安心して暮らし続けることができる社会を実現します			【用語解説】 ※1 2040年問題 …2040年に団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピークを迎えることで起こる社会問題の総称をいう（医療・介護サービスの担い手不足）。 ※2 8050問題 …80代の高齢の親が50代の引きこもりの子どもの生活を支えるなど、親と子が抱えがちな困窮や孤立等の問題をいう。親の収入がなくなり、様々な理由から外部への相談も難しく、親子が社会的に孤立して生活が立ち行かなくなる状態を指す。 高齢者の就業率上昇 単身又は高齢者のみの世帯の増加 認知症高齢者の増加 介護の担い手の確保(介護人材の不足) 家族介護者の負担 全世代型社会保障 要介護・要支援認定者数の増加 介護を支えるICT 2040年間※1 8050問題※2		
③方針（Ⅰ～Ⅲ）・④施策（1～8）		⑤課題・今後の方針			
Ⅰ 社会の変化に対応しながら、高齢者が健康で自分らしく活躍することができるような取り組みや環境づくりを進めます					
1	高齢者の健康と生きがいを支える取り組みや、地域づくりへの支援の充実	○介護・フレイル予防は、早期の気づきによる自分事化と様々な地域資源等を活用したセルフマネジメントにつなげることが重要である。 ○通いの場等の地域資源の充実、および必要な方に情報が届くようICT等も活用しながら情報発信を行う必要がある。			
2	高齢者の意欲と経験に応じた活躍を後押しする取り組みや、環境づくりの推進	○高齢化の進行により外出や社会参加の機会が減少する中、地域活動への関心を高めて参加につなげるとともに、ライフステージに応じた活躍の場の確保や、就労意欲のある高齢者への支援が必要である。			
3	社会の変化へ柔軟に対応する取り組みの強化	○社会構造の変化に伴うニーズの多様化や担い手不足への対応を踏まえつつ、地域支え合い体制の持続性を確保し、高齢者が活躍できる環境整備が必要である。			
Ⅱ 地域で共に支え合い誰もが自分らしく暮らし続けることができるよう地域包括ケアシステムの体制を強化します					
4	地域における安心の確保や自立した暮らしの継続を可能とするきめ細かな支援の充実	○高齢化の進展に伴う相談件数の増加や、多様化・複雑化する生活課題に対応するため、高齢者一人ひとりの支援ニーズを踏まえた支援の充実や災害時などにおける持続的な支援体制の強化を進める必要がある。			
5	地域の多様な主体が連携する支え合い体制づくりの取り組みの強化	○地域ケア会議などを通じ、医療・介護・相談機関や地域の関係者のさらなる連携強化を図るとともに、地域包括支援センターの負担軽減に向けた取組の推進を図るなど、持続可能な支え合い体制づくりを進める必要がある。			
6	認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らし続けることができる共生社会づくりの推進（認知症施策推進計画）	○認知症に対する正しい理解の促進と、診断、相談後の切れ目ない支援体制を強化することにより、本人・家族が地域で尊厳と希望を持って暮らし続けることができる共生社会の実現を図る必要がある。			
Ⅲ 将来にわたって必要な介護サービスが受けられるよう持続可能な体制を構築します					
7	中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備	○必要な介護サービス基盤の整備を継続的に実施する必要があるが、社会情勢の影響等により、整備計画に一部遅れが生じているため、適切な施設整備を進めていく必要がある。 ○介護ニーズの多様化を踏まえ、適切な介護サービスを提供できるよう、介護サービスの質の確保及び向上を図る必要がある。			
8	介護人材の安定的な確保・育成に向けた支援の充実と介護業務の効率化の推進	○介護需要の増加を見据えた、将来の介護の担い手づくりをはじめ、多様な人材の確保や育成・定着支援の充実を図るとともに、介護職員や事業者等の負担軽減を図ることが必要である。			

⑧方向性（案）		⑨実現するために必要となる視点	
介護・フレイル予防活動の更なる (1) 活性化と地域における持続可能なフレイル予防の仕組みの確立	・介護・フレイル予防活動の充実 ・民間活力も活かした健康への関心・意識の引き上げ ★ <u>地域資源等も活用したセルフケアの意識醸成による自立的な健康づくりの促進</u> ★ <u>支援につながっていない人の把握とアウトリーチの強化</u> ・活躍し続けられる環境づくり ★ICTの活用による効率化・利便性の向上（ <u>事業所・利用者の双方への支援</u> ）	(2) 高齢者の活躍を後押しし、地域社会に貢献できる環境づくりの推進	・身近な通いの場等の充実 ・活躍し続けられる環境づくり※再掲 ・ニーズに応じた就業に関する相談体制 ・多様な就労機会の創出
持続可能な支援体制の構築と支援する側される側双方のICT活用の定着	・ICTの普及とそれらを活用した負担軽減 ・社会・技術の変化に即した制度の見直し ・担い手不足解消の取組 ・活躍し続けられる環境づくり※再掲 ・ニーズに応じた就業に関する相談体制※再掲		

【方針1(案)】健康寿命の延伸	
⑧方向性（案）	
介護・フレイル予防活動の更なる (1) 活性化と地域における持続可能なフレイル予防の仕組みの確立	・介護・フレイル予防活動の充実 ・民間活力も活かした健康への関心・意識の引き上げ ★ <u>地域資源等も活用したセルフケアの意識醸成による自立的な健康づくりの促進</u> ★ <u>支援につながっていない人の把握とアウトリーチの強化</u> ・活躍し続けられる環境づくり ★ICTの活用による効率化・利便性の向上（ <u>事業所・利用者の双方への支援</u> ）
(2) 高齢者の活躍を後押しし、地域社会に貢献できる環境づくりの推進	・身近な通いの場等の充実 ・活躍し続けられる環境づくり※再掲 ・ニーズに応じた就業に関する相談体制 ・多様な就労機会の創出
持続可能な支援体制の構築と支援する側される側双方のICT活用の定着	・ICTの普及とそれらを活用した負担軽減 ・社会・技術の変化に即した制度の見直し ・担い手不足解消の取組 ・活躍し続けられる環境づくり※再掲 ・ニーズに応じた就業に関する相談体制※再掲

【方針2(案)】地域包括ケアシステムの深化	
(1) 地域で安心して暮らし続けられるための支援の充実	★多種多様なニーズへの対応（ <u>一人暮らし世帯の増・在宅介護のニーズ増</u> ） ・災害発生時・感染症流行時でも継続できるサービス提供体制 ・身体や生活の状況などに応じた居住支援 ★ <u>家族等介護者（ケアラー）への支援</u>
(2) 医療・介護・地域の連携強化による切れ目のない支援体制の構築	・医療・介護需要増加への対応 ・地域への情報発信（社会資源の見える化） ・医療・介護・相談機関や地域の関係者との連携 ・切れ目なく必要なサービスを受けられる体制・地域づくり ・ICTの活用等による地域包括支援センターの負担軽減
(3) 新しい認知症観に基づく共生社会づくりの推進（認知症施策推進計画）	・市民一人ひとりが認知症への理解を深める取り組みの推進 ・認知症の人と家族の生活におけるバリアフリー化の推進 ・医療、介護専門職等の多職種連携による認知症への対応力の強化

【方針3(案)】持続可能な介護サービスの体制整備	
(1) 中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備や事業運営を支える取り組み	・介護サービスを提供するための計画的な介護サービス基盤の整備 ・適切な介護サービスの提供に向けた事業所や施設への支援
介護の担い手不足に対応する人材確保、定着支援と介護業務負担の軽減	・介護職の魅力発信 ・多様な人材の更なる活用促進 ・安心して働き続けられる環境づくりの推進 ・ICTの普及とそれらを活用した負担軽減 ※再掲